



北九州港初！10万t級のクルーズ船寄港（開催報告）



「コスタ・フォーチュナ」

総トン数：102,669トン

全長：272.35m

総乗客定員：3,470人

平成28年9月8日（木）、若松区のひびきコンテナターミナルに10万トン超としては北九州港初となる大型クルーズ船「コスタ・フォーチュナ」が寄港しました。黄色いファンネルにCの文字が入ったシンプルなデザインが特徴的な本船は、予定時刻より少し早めに朝もやの中を抜けて入港しました。

本船はイタリアのジェノバに本社を置く「コスタ・クルーズ社」初の大型クルーズ船で、今回は中国の上海を出発し、日本と韓国を回る4泊5日の行程でした。入港後、約3,000人の乗客は80台の観光バスに乗り込み、北九州市（門司港）や福岡方面への観光やショッピングを楽しみました。

その後、岸壁では初寄港を記念した歓迎式典が行われ、北九州市から歓迎のあいさつと記念品、花束の贈呈を行い、船長からも返礼の品をいただきました。船長からは「この美しい港へ寄港できたことを嬉しく思います。イタリアンスタイルのクルーズを皆様にご案内したいです」とのあいさつもいただき、和やかなムードで式典は終了しました。

観光客のツアーバスが出発した後、自由時間が出来たクルーも「若松区観光ワンデイツアー」や無料シャトルバスを利用して、市内への観光やショッピングに出かけて行きました。クルーの方々はみなさん色々としらべられていて、小倉城や門司港へのお出かけを希望されていました。

夕方5時、北九州市役所の愛好会「響」による「五平太ばやし」のお見送り演奏によって「コスタ・フォーチュナ」は、次の港、韓国済州（チェジュ）島へ向けて出港しました。



和やかに行われた記念式典



五平太太鼓の演奏でお見送り